

第4次柴田町子ども読書活動推進計画(素案)に対するパブリック・コメント提出意見

No.	意見提言の内容	意見提言に対する町の考え方
1	<p>11ページ 5行目</p> <p>(1) 家庭・地域の役割と具体的な取り組み Newspaper in Education＝「教育に新聞を」の追加意見</p> <p>小説は、読書習慣がなければ、まず読破することは困難と思料。 このため、毎朝輕易に読むことが出来る新聞を教育に取り入れることを推奨する。</p> <p>新聞を読むことで、読解力、課題発見・解決力、情報活用能力、批判的思考力、表現力を身に付けることができる。学習指導要領は、変化の大きい社会を生きる上で必要とされるこれらの力を育てることを求めている。</p> <p>政治、国際、経済、社会、地域、健康、スポーツ、福祉、広告、社説、特集、投稿記事等、幅広い偏りのない情報が掲載され、子供たちの夢や希望を育む手立てとなる。</p> <p>町は、パブリック・コメント制度を導入しているところ、町民は、意見を提出する際、読解力、課題発見・解決力、情報活用能力、批判的思考力、表現力が必要とされ、これらの能力が備わった町民の意見が、町としての統一的なルールを確立し、行政運営の透明性の向上を図るとともに、町民の町政への参加機会の拡充を図り、「公平公正で開かれた町政」を実現していくものと確信する。</p> <p>読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより良く生きていく力を身に付ける上で欠くことのできないものだ。</p> <p>特に、課題解決思考は、情報収集、アセスメント、計画立案、実施、計画から構成され、いかに幅広い深みのある情報を収集するかが、重要なポイントとなる。</p> <p>新型コロナ、人口減少、雇用の不安定化、社会保障の持続可能性、職業生活と家庭生活の両立、健康、DV、虐待、いじめ、ハラスメント、不登校、超高齢化社会等の難局を切り拓くためには、子どもの読解力、課題発見・解決力、情報活用能力、批判的思考力、表現力を身に付けることが必要不可欠である。</p> <p>この際、新聞各社は、テーマ特集の投稿を募集しているところ、子どもに対し、率先して文章を起案し、社会に対する自分の意見を論述する機会を付与することが、アサーション能力を向上させ、虐待、いじめ、不登校等の未然防止に繋がるとともに、未来の社会人・地球人としての素養が涵養されものと思料。</p>	<p>町内の小・中学校の図書室に子ども新聞を用意し、教師や司書が授業で積極的に活用しています。第4次柴田町子どもの読書活動推進計画の基本的な考え方として、家庭においても身近な読書対象や学習に新聞が活用されるよう促していきたいと考えております。</p>

No.	意見提言の内容	意見提言に対する町の考え方
2	<p>P2-13行目</p> <p>今後の課題、として11項目挙がっているが、内容の重複が多過ぎる。丁寧に細かく課題を分ければそれだけ具体的な取り組みは細かく設定されるべきだが、この素案は決してそうなってはいない。まとめ方としては、例えば、課題の1項目目と2項目目は家庭・地域、教育機関、行政に対して子ども読書活動推進計画の重要性について理解を促す有効なPRのあり方と、まとめることができる。課題の3項目目と11項目目は、家庭における読書時間等、本と触れ合う時間の確保を促し、読書習慣を定着させるための啓蒙啓発と、まとめることができる。以上のような手法を用いれば今後の課題は11項目ではなく5項目程度に集約できる。改善を求めたい。</p>	<p>より具体的な取り組みとなるよう、今後の課題を精査し、11項目から8項目に集約いたします。</p>
3	<p>P7-24行目</p> <p>国語力向上に積極的に読書活動の活用を図る、とある。子どもの成長過程に応じた取り組みの一環とするならば、中学生時にこの表現があるのはいささか遅い、と考えるべきであろう。中学生時に類似の表現を記述するならば、読書を通じて読解力向上を図り、結果として国語だけではなくあらゆる学びの場でそれを生かすように促すという表現が適しているのではないか。第3次計画立案の際にパブリックコメントへの町の考え方においてもこのような表現と合致する見解がすでに示されてることからもこの部分は表現方法を再考願いたい。</p>	<p>ご意見のとおり、読書は語彙や読解力が向上し、国語科だけではなくあらゆる学びに影響を与えるものです。表現力や読解力を活用する技術が国語力だと理解しています。どの成長段階においても取り組まなければならない項目ではありますが、読書活動が急激に低迷する中学生時に、あえて例示しました。</p>
4	<p>P7-2行目</p> <p>三つの諺があります。子ども読書活動推進に関して、諺を用いて説明すること自体は悪くないと思いますが、何の脈絡もなく、それぞれの諺についての簡単な説明もなく、では違和感を覚えます。日常的に用いられる言葉なら問題ないと思いますが、この諺をここに提示することで子どもの読書活動が深まるのかどうかについてきちんと推進会議の場で議論されたのか、委員のどなたかが提案されたものに関して特に異論がなかったのかここに記述したのか、という経緯をご説明願いたいです。</p>	<p>大人の行動が子どもの行動変容に大きく影響し、環境もまた影響を与える外的要因があることを勘案し三つの諺を記述しました。発達段階に応じた取り組みには直接文脈的に繋がらないかもしれませんが、付随的な意味合いであることをご理解いただければと思います。三つの諺には注釈を入れるようにいたします。</p>
5	<p>• 全体的にフォントや文章の書き方を統一した方が良いと思いました。 • 5ページ13行目、【今後の課題】のところに、「○新しい図書館の建設」がないことに違和感を感じました。子どもの読書を推進していくならば、今の「仮」の状態である図書館を新しくすることがいちばんの近道であると感じます。なんだか、図書館建設という文言を避けて計画書を作ったような印象を受けました。</p>	<p>ご指摘のとおり多くの修正点がありますので、改めたいと思います。図書館建設につきましては、様々な検討を進めておりますが、まだまだ不確定な要素が多いために、今回の計画では表現しておりません。</p>

No.	意見提言の内容		意見提言に対する町の考え方
6	P10	<p>児童・生徒の人数が減少している現状で、図書館の貸出冊数の目標値は高すぎるのではないかと。</p>	<p>ご指摘のとおり毎年町内の児童・生徒の人数は減っております。会議の中で高いとの意見もありましたが、今一度挑戦することを考え目標数値を検討いたしました。</p>
7		<p>表紙:無理にはなみちゃんでも良い、本に関係するイラストが良いのではないかと</p> <p>P6-14行目:家庭・地域のところに各家庭の入れたほうが良い。行政のところは図書館が一番上の方が良いのではないかと</p> <p>P7-1行目:啐啄同期→啐啄同時か啐啄同機、孟子三遷→孟母三遷</p> <p>P8-1行目:フォントが違ふ</p> <p>P8-14行目:家読は学校で進めた方がより効果的ではないかと</p> <p>P9 :町の図書館については触れないのか</p>	<p>表紙のはなみちゃんは柴田町のイメージキャラクターであり、皆さまに気軽に手に取って読んでいただきたく、第3次柴田町子ども読書活動推進計画同様掲載しました。ご指摘のとおり修正点は改めます。「家読」について、最近、学校でも重要視されていますが、学校では「朝読」が行われています。そこで、本計画では家庭での実践と学校での啓蒙という形で取り組んでいきたいと考えております。関係機関の取り組みには、図書館も含まれておりますので、子どもの読書活動推進に積極的に取り組んでいきたいと考えております。</p>
8	P2-10行目	<p>[第3次計画期間中のおもな取り組みと成果]はPDCAサイクルにおけるCheckにあたるもので、今後の課題に向けての問題点を共有する大きな観点だと思っておりますが、記述が少なく残念に思いました。また、「取り組み全体の進捗状況は令和元年度で74.8%でした」とありますが、数字の根拠を具体的に提示していただきたいと思っております。</p>	<p>ご意見のとおり、より具体的でわかりやすい内容となるよう修正いたします。</p>
	P9-4行目	<p>[行政機関の役割と具体的な取り組み]において「児童図書、郷土資料などの整備・充実を図る」とありますが、柴田図書館においてはスペースに余裕がない中でどのように取り組んでいく予定なのでしょう。今後の見通しについてご教示ください。</p>	<p>現在は限られたスペースの中ではありますが、様々な工夫をして整備・充実を図ってまいります。</p>

No.	意見提言の内容		意見提言に対する町の考え方
	P10	指標として不読率と貸出冊数あげられていますが、この指標だけで基本方針実現の根拠としてしまうことに違和感を持ちました。読書という本来内面的なものを数量化することには限界がある中で、柴田町はどう可視化し指標としていくのか、今一度深く検討する必要があると思います。一案として、様々な観点からの意見を可視化することを目的に、計画の対象となる人々・機関への意識及び満足度調査を行い情報公開していくことを提案します。ちなみに、これまで行われたアンケートのとりまとめや会議の議事録等は情報公開されているのでしょうか。自力では見つけることが困難であったので、推進計画への添付またはURLの記載を要望いたします。	ご意見のとおり、読書活動の数値化が難しいものです。十分ではないですが従来行われてきたアンケート調査や取り組み状況調査の結果は、現在公開しておりませんが、今後公開できるか検討してまいります。
9	P12	・12ページに、「図書館をはじめ人的資源も多く」となっているが、専門的知識を有する司書を採用することも取り入れた方が良いのではないかと。	現在、柴田町図書館の職員は行政職を除いて全員が有資格者です。ご意見のとおり、司書の採用と併せて司書の質の向上も図ってまいります。
10	P10	推進のための指標の設定において、ほとんどの指標が第3次計画を下回る数値設定となっている。過大に見積もることは避けなければならないが、これでは計画を推進しても読書活動は活発にならないことを想定しているようにも受け取れる。具体的な取り組みを実践してもなお、目標数値を過少に見積もらなければならない理由は何か。可能であればせめて第3次計画の際にたてた指標を下回らない数値設定をお願いしたい。	第3次柴田町子ども読書活動推進計画では、宮城県の「みやぎ子供読書活動推進計画」に沿った目標数値を掲げていました。新しい計画を作るにあたり柴田町の現状(児童生徒数の減少)などを考慮し、町独自の目標数値を検討し設定したものです。
11	全体を通して	説明が必要な用語については欄外に解説をお願いします。例えば、「インターネットやスマートフォンなどさまざまなメディア」という言葉が1ページ目に出てきますが、3ページ目には「インターネットやスマートフォンなどAI技術」とあります。「さまざまなメディア」は「インターネットやスマートフォン」を説明する言葉としてあると思いますが、「AI技術」は適切でしょうか？類似の言葉で、「ICT技術」であれば解りますが、いずれにしても様々な言葉を柴田町としてどのような意味で用いられているのか、について読み手が把握できない(または誤解してしまう)ようであれば、大変残念ですので、他市町村(せめて県内市町村、それも無理なら隣接市町村)の計画を通読していただき、より読書活動についての理解が深まるように記述を見直していただきたいと考えます。	ご指摘のとおり、説明の必要な用語についてはできるだけ解説などを入れ、計画が理解されるよう文言を修正してまいります。

No.	意見提言の内容		意見提言に対する町の考え方
12		<p>表紙 :表紙のイラストはぱっと見て読書についてだと分かるものにしたほうがいい。</p> <p>P10-2行目:啐啄同期ではなく啐啄同機、もしくは啐啄同時ではないか。孟子三遷ではなく孟母三遷ではないか。</p> <p>P11～P12:第4章だけである調になっているので他と統一したほうがいい。</p> <p>P11-5行目:家庭の取り組みにはどのようなものがあるかもう少し明確なほうがいい。</p>	<p>表紙のはなみちゃんは柴田町のイメージキャラクターであり、皆さまに気軽に手に取って読んでいただきたい。第3次柴田町子ども読書活動推進計画同様掲載しました。ご指摘のとおり、修正点は改めます。具体的な取り組みについては、理解が得られるよう表現を変更し修正いたします。</p>